

速野の福祉

= 発行 =
速野学区
社会福祉
協議会

ひと
ひと



ネオ・ベラヴィータ守山自治会
森田貞三さん (88歳)

題字・記事とも

今日も楽しんで頑張ろう

私は昭和5年生まれで、今年で88歳になりました。

大阪市生まれの戦前戦中派として、学徒動員で勤労奉仕を3年間勤めあげました。昭和20年大阪市はB29の空爆焼夷弾攻撃を3回受けて、丸裸になりました。皆さんもご承知のように、食糧難に陥り何度も生死をさまよいながら、大阪市内の闇市場で商売をしました。幾つもの中小企業の会社に入社、その後大手企業に入り、73歳迄勤めあげて職を去り、お陰で大阪から現在の滋賀に移りました。

こちらの琵琶湖周辺地は有難いことに、水、空気、青々とした山々、素晴らしい環境地です。大阪に比べると最高の気分です。

今は私の趣味として好きなカラオケを月4回、グラウンドゴルフを月数回、近場の温泉地を月1回、楽しんで暮らしております。私もこの年で、最近ちょっととした身体の不調があり、誰もが一度は介護のお世話になることを考えますと、不安と淋しい気分になります。数年後には医療技術開発で楽しい終焉を迎える事を願っている今日この頃です。



速野学区民のつどい

第42回

10月21日（日）地球市民の森

2年ぶりの速野学区民のつどいが、秋晴れのもと、開催されました。

民生委員・児童委員のテントでは共同募金と福祉用具の展示が行われました。

風船に誘われて多くの小さい子ども達が、募金に協力してくれました。脳トレのビー玉ゲームに挑戦したり、福祉用具に興味を示してくれた、子ども達が多くいたのには驚きました。

皆様ご協力ありがとうございました。



福祉活動紹介

速野学区老人クラブ連合会の活動紹介



※自治会の各老人会・単位クラブ

速野学区老人クラブ連合会は、学区内の単位クラブで組織し、会員相互の親睦、高齢者の生きがいと健康づくりを目指して活動を行っています。

単位クラブの交流親睦事業として「長寿祝賀会」「グラウンドゴルフ大会」を、また「みんなが主役、見守り支え合う活動」・「在宅介護と医療、生活支援活動」をテーマに研修を深め、高齢者福祉の重要性を再認識したところです。

学区民の集いでは、伝統行事「しめ縄・リースづくり」を速野小学校PTAと担当し、子どもたちとふれあい、世代間交流ができ、楽しく過ごさせていただきました。

一方で、会員の高齢に伴う病気・介護等の問題で、活動に参加できない事情が生じています。

日本人の平均寿命が女性87歳、男性81歳と高水準であるのに対し、健康上の問題がなく生活できる健康寿命は、女性約75歳、男性約72歳と差があり「どのようにして健康寿命を延ばしていくか」が課題になってきました。

すでに速野学区社協、各自治会で「高齢者サロン」「百歳体操」「みんなのリビング」等、多様な地域福祉活動が行われ、我々高齢者の居場所となっています。

これからも、速野学区社会福祉協議会の活動に積極的に参加し、「魅力あるクラブ活動」を推進したいと考えています。

速野学区老人クラブ連合会に、今後とも深いご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

速野学区老人クラブ連合会会长 今井孝雄



交通安全協会の活動紹介



現在、交通安全指導員は15名の会員が活動をしています。

活動内容は、毎月1日、15日の登校時に、交差点で立番をします。春と秋の全国交通安全運動の啓発を10日間行います。又、畠を借りて、交通農園とし、たまねぎ・さつまいもを収穫、その野菜の名前をもじった交通安全啓発活動をしております。

学区民のつどいにも参加し、『とびだしほうや』の製作をしています。毎年、30個を速野会館に贈っています。

交通安全協会 速野分会 菱田 喜清



福祉協力員連絡会の活動紹介

連絡会議

平成30年9月28日（金）

今年度2回目の連絡会議を速野会館で開催しました。

この会議で、第42回速野学区民のつどい、奉仕作業、交流会および歳末たすけあい街頭啓発について話し合いました。

学区民のつどいでは『カフェ』の出店をするということで、おいしいコーヒーのいれ方を練習しました。



カフェ出店

平成30年10月21日（日）

第42回速野学区民のつどいで、福祉協力員連絡会はカフェの出店を行い、来場者にホットコーヒーと焼き菓子を販売しました。

当日は、晴天に恵まれ最高気温も23度とやや暑い中、ホットコーヒーの売れ行きを心配しましたが、おかげ様で大盛況。守山市社会福祉協議会のキャラクター「もりぴー」や守山市長にもご来店いただき、250杯のコーヒーをほぼ完売しました。

また、森づくりセンターでは、福祉協力員連絡会の活動を紹介する写真をパネル展示しました。



奉仕作業 社会福祉法人湖南会 蛍の里

平成30年10月4日（木）

今年度の奉仕作業は24名で約1時間、敷地の草引きを行いました。作業中は心配していたお天気もなんとか持ち、周囲もきれいになって、施設の方からも喜んでいただきました。

作業の後、松並施設長から施設と地域との自然な関わりあいの説明を受け、DVDで施設内の生活の様子や地域との関わりの様子を鑑賞しました。最後に、速野学区地域福祉推進員が説明のお話を述べ、奉仕作業を終えました。





速野情報箱



「けがの応急手当」

啓発部会による地域福祉体験講座が10月26日47名の参加で行われました。

日本赤十字社の救急法指導員による「けがの応急手当」というテーマで学びました。

風呂敷やバンダナを使つた応急処置、レジ袋を感染予防や三角巾代わりに使う方法を教えていただきました。

また、身近な生活用品の新聞紙や雑誌を副子（添え木）に、さらにはラップが包帯や三角巾として使えることを学びました。

体験によって得た知識が活かせればと思いました。

守山市北部地区 地域包括支援センター便り 『地域のみんなで、安心な地域づくり』

認知症は、誰もがなりえる病気ですが、早期に発見し適切な治療とケアをはじめことで、症状を改善できる病気です。まずは、ご相談下さい。こんな支援体制を整えています。

【認知症初期集中支援チーム】

認知症の人やその疑いのある人、家族のもとに訪問して認知症についての困りごとや心配などの相談に対応します。複数の専門職によつて構成されたチームです。



北部地区

【オレンジカフェほっこり庵～絆～】

【もの忘れ相談プログラムの実施】

地域の方が気軽に集える場所（カフェ）です。日々の生活の中での不安、介護に対する思いなど、飲み物を片手にゆつくり相談しませんか？同日、タッチパネルを使用した簡単な「もの忘れチェック」も実施しています。（奇数月第4月曜）

【行方不明高齢者SOSネットワーク】

守山市では、行方不明高齢者の捜索に協力するSOSネットワークがあります。「認知症の人が道に迷つて困っているのでは？」と、気づいたらすぐにお連絡下さい。

【認知症サポート養成講座】

認知症について、詳しく解り易い講座を開催しています。地域サロン・住民講座・学習会等をご活用下さい。

守山市北部地区地域包括支援センター
TEL 077(516)4160

広報部会研修風景

11月7日、速野会館 1F会議室で、「速野の福祉」77号校正会議を行いました。守山市秘書広報室より、講師をお招きし、部会員の作成した記事の校正方法について、助言をいただきました。

入稿された記事を確認しながら、日頃の校正会議とは違つた意見をいただいた

ことで、「目からうろこ」が落ちる」という経験ができました。

より見やすく、よりわかりやすい「速野の福祉」が発行できるよう、部会員に目標ができたように感じる会議と研修でした。

